

NPO 法人 レッドリボンさっぽろ  
年次総会資料

日時：2024年5月12日（日）10：00～12：00

場所：札幌市北区北11条西3丁目2-23 ノースタウンハウス218号室  
NPO法人レッドリボンさっぽろ 事務所

# NPO法人レッドリボンさっぽろ

## 年次総会 式次第

1. 開会宣言
2. 議長・書記選出
3. 2023年度 事業報告
4. 2023年度 決算報告
5. 各部報告
6. 2023年度 総括案
7. 2024年度 予算案
8. 2024年度 人事案
9. 中期目標・2024年度短期目標の確認

# 2023年度事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

## 1 事業の成果

2023年度は新型コロナウイルス(COVID-19)が5類感染症に移行したことにより、対面を中心にさまざまなイベントが再開し参加者の生の感想・意見を目にする貴重な機会となったほか、2023年度も新たなつながりがひろがった1年となりました。

### ●エイズ電話相談

長引く緊急事態宣言やまん延防止措置により、相談件数は前年からわずかに増加し、222件となりました。  
新しい予防法であるPrEPやPEPに関する相談も増えてきました。  
また、2023年度はポケットティッシュ500個を購入し、前年度に制作した広報資材を折り込んで配布をしました。

### ●電話相談員派遣

札幌市にて実施する電話相談に相談員を派遣しています。

### ●HIV陽性者交流会inHOKKAIDO

HIV陽性者の相談場所のひとつとして、またコミュニケーションの場として、偶数月第3土曜日に札幌市内の公共施設などをお借りしHIV陽性者交流会inHOKKAIDOを2014年から実施しています。  
2023年度は4/15・6/17・8/19・10/21・12/17・2/17の開催(すべて札幌開催)を計画しましたが、8月・12月は参加申し込みが非常に少なかったため中止としました。(参加人数4/15:5名、6/17:5名、10/21:4名、2/17:5名 計19名)

### ●キルト作成

製作した作品は、オークションや個人売買をし、収益をアフリカにてHIV陽性者や遺児支援を行うNPO法人PLAS様に寄付しています。  
2023年度は10作品を制作・出品し、7品が落札されたほか、直接依頼を受けた7作品を販売しました。  
2023年度も6月と10月に各3万円ずつ、計6万円を寄付。当該寄付金についてはキルト事業の雑費として計上しています。

### ●北海道医療大学祭『九十九祭』ブース出展・ステージ発表

6月17日(土)～6月18日(日)に4年ぶりの開催となる北海道医療大学 大学祭「九十九祭」にブース出展をしたほか、6月18日(日)には久しぶりのステージ発表を行いました。

### ●Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 資材配布

7月2日(土)Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 2023 Vol.1が札幌市市民交流プラザ・クリエイティブスタジオにて、11月18日(土)Groovin' Herd Jazz Orchestra LIVE 2023 Vol.2が、生活支援型文化施設コンカリーニョにて、3月9日(土)Groovin' Herd Jazz Orchestra LIVE 2024 Vol.1 がEL MANGO(札幌市中央区南7条西3丁目青樹ビルB1F)にて開催され、主催者にご協力いただき、ライブ会場受付にて、当会の活動リーフレットとLGBT啓発資材を配架しました。

### ●SAPPORO GAY NIGHTコンドーム配布

一般社団法人にじいろほっかいどう様(※)と共同で実施をしているMSM ALL JAPANの事業として、7月22日(土)GLOVE WITH AQUA STYLEにて行われたSAPPORO GAY NIGHT Summer Premiumにおいて、コンドームを200個配布いたしました。  
※2023年9月に北海道のLGBT支援団体である、にじいろほっかいどうは一般社団法人となりました。

### ●ラジオ出演

STVラジオにて好評放送中の『Knock on the Rainbow』9月2日(土)放送にミツルさんがゲストとして出演し、HIV陽性者としての話や基礎知識、札幌市主催で実施されるエイズ検査会についてなどをお話しました。  
また、10月1日のLGBTのためのエイズ検査会、12月の世界エイズデーに合わせて、代表の沼田が9月と11月～12月に三角山放送局の『にじいろスマイルラジオ』に出演し、基礎知識の話やU=Uなどの最新情報などをお話しました。  
そのほか、事務局長の秋山が11/21にFMドラマンティの『高橋愛紀が贈るSOGI-Mamii's ハビネス♥Umbrella☂』に出演しました

### ●コンピネーション予防とPrEP開催

一般社団法人にじいろほっかいどう様(※)と共同で実施をしているMSM ALL JAPANの事業として、9月15日(金)19:00～21:30 札幌エルプラザ 4F 大研修室B・Cにて対面・zoomのハイブリッドにて開催しました。  
講師として2023年3月まで札幌医科大学にてHIV陽性者の診察をおこない、現在は医療法人社団池田内科で副院長を務める池田博さん、ぶれいず東京代表の生島嗣さんにお話をいただいたほか、札幌市内で初めてPrEP処方をはじめられた宮の森レディースクリニック院長の池田詩子さんに加わっていただきパネルディスカッションを行いました。  
当日は会場で約30名、Webで25名の方にご参加いただきました。

### ●さっぽろレインボープライド ブース出展

9月16日(土)～9月17日(日)実施。歩行者天国となった南1条通の西3丁目に当会としては初めて、開催された2日間にわたりブースを出展しました。総動員数は約2万人(さっぽろレインボープライド実行委員会発表)。  
また、さっぽろレインボープライドHPにバナー広告も掲載しました。

### ●札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣

札幌市保健所が実施する当検査会は、例年さっぽろレインボープライド関連イベントとして開催しています。  
また毎年レッドリボンさっぽろでは、検査会の広報と、検査会へ相談員の派遣を実施しています。  
2023年度については名称をこれまでの『ゲイ・バイ男性のためのエイズ検査会』から『LGBTのためのエイズ検査会』に名称を変更したほか、昨年より予約枠を増やして10/11に白石保健センターで実施をしました。受検者数は59名でした。

### ●イオン黄色いレシートキャンペーン店頭呼びかけ

イオン札幌苗穂店にて、11月11日と2月11日に黄色いレシートキャンペーンの店頭呼びかけを行いました。

### ●配布用オリジナルコンドーム作成

bdaオーガニック様よりいただいた助成金により当会オリジナルパッケージのコンドームを作成することとなり2022年9月のさっぽろレインボープライドにて行ったアンケート結果などをまとめ、サイズ別のコンドームを作成いたしました。当初は2023年のさっぽろレインボープライドにて配布を行う予定でしたが諸般の事情で2024年1月にずれ込んでしまいました。以下に記載する「ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE SAPPORO」で配布を行ったほか2024年度に開催するイベントにて配布を予定しています。

●さぼーとほっと基金パンフレットラック配架

2023年度は通年を通して、イオンモール札幌苗穂店とイオンモール札幌発寒店に設置することができました。

●札幌市エイズ対策推進協議会出席

2月21日(火)札幌市保健所において札幌市エイズ対策推進協議会が開催され、当会から選出されている委員が出席しました。今回は対面での開催となり、札幌市における現状や2022年度の取り組みなどについて報告がありました。

●コミュニティセンターZEL主催「HIV陽性者と語ろう」オンラインイベントへの登壇

11月25日(土)仙台のHIVコミュニティセンターZEL主催により、HIV陽性者と語ろうが盛岡市内で開催され、当会所属のHIV陽性者が現地で登壇しました。

<その他特記事項>

●第37回日本エイズ学会への参加

現地・ライブ配信:12月3日(金)~12月5日(日) オンデマンド配信:12月19日~1月9日  
2023年の日本エイズ学会はリーガロイヤルホテル京都で開催され、レッドリボンさっぽろからは1名が現地参加しました。  
2023年度も現地開催も合わせたハイブリッド開催となりましたので、昨年に引き続き、事務所で希望者を募り視聴をしました。

●各種講演会・勉強会への参加

その他、以下の講演会・勉強会に参加しました。  
・9月8日(金) わたしとわたし、ぼくとぼく+LGBTQIA  
・10月28日(土) 社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部主催 HIV検査相談担当者研修会  
・12月3日(金)~5日(日) 第37回日本エイズ学会  
・12月10日(日) イルファア・釧路主催 『師走講演会』  
・12月21日(木) ドクターから学ぼう! ~性感染症と生活予防~  
・12月23日(土)~24日(日) 厚労省研究班『MSM ALL JAPAN』班会議  
・1月19日(金) mabui大学:「知りたいさ~、沖縄の実情、PrEP入門」  
・1月24日(水) 2023年度第6回臨床検査セミナー「梅毒の流行状況と検査について」  
・1月27日(土) 実例で学ぶ コミュニティ立ち上げ、研究、アドボカシー-ゲイコミュニティと抗HIV薬の予防適用政策を例に-  
・2月16日(金) 目指そう! 認定NPO法人セミナー&交流会  
・3月9日(土) NPOだからできる! 想いが伝わる広報講座  
・3月23日(土) NPOのための組織の作り方講座  
・3月23日(土) 薬害エイズ裁判 和解28周年記念集会

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
電話相談事業	エイズ電話相談	毎週火曜 19時~22時 ※8/15・1/2は休止	レッドリボンさっぽろ事務所	3人	222人	152
	電話相談員派遣(札幌市)	毎週木曜 16時~20時 ※相談員はシフト制	札幌市内の公共施設	2人	非公開	162
HIV感染者・エイズ患者などに対する社会的支援サポート事業	HIV陽性者交流会 in HOKKAIDO	4月15日、6月17日、10月21日、12月17日(4回)	札幌市内公共施設ほか	1人	19人	10
キルトの製作及び海外への送付事業	キルト作成	毎週火曜日 10:00~14:00	レッドリボンさっぽろ事務所	7人	-	145
HIV感染予防等に関する普及啓発事業	北海道医療大学祭「九十九祭」ブース出展・ステージ発表	6月17日(土) 6月18日(日)	北海道医療大学	3人	50人	6
	Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 資料配布	7月2日(土) 11月18日(土) 3月9日(土)	札幌市市民交流プラザ コンカリーニョ EL MANGO	1人	-	2
	SAPPORO GAY NIGHTコンドーム配布	7月22日(土)	GLOVE WITH AQUA STYLE	2人	200人	0
	ラジオ出演	9月2日(土)・9月12日(火)・9月26日(火)・11月28日(火)・12月5日(火)・11月21日(火)	9/2 STVラジオ、11/21 FMDラマシテ、それ以外は三角山放送局	2人	-	0
	コンピネーション予防とPrEP講演会	9月15日(金)19時~21時	札幌エルプラザ 大会議室B・C	3人	55人	42
	さっぽろレインボープライド ブース出展	9月17日(土) 12:00~17:00	南1条通西2丁目~西3丁目	3人	20000人	56
	札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣	9月27日(日) 10:00~17:00	札幌市白石保健センター	2人	59人	64
	イオン黄色いレシート店頭呼びかけ	11月11日(土) 2月11日(日)	イオンモール札幌苗穂店	2人	-	0
	配布用オリジナルコンドーム作成	通年	レッドリボンさっぽろ事務所	3人	-	220
	ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE SAPPORO	1月13日(土)	札幌市中央区民センター	2人	3人	0
	札幌市エイズ対策推進協議会出席	2月15日(木)	札幌市保健所	1人	-	0
	さぼーとほっと基金パンフレットラック配架	通年	イオンモール札幌苗穂店 イオンモール札幌発寒店	1人	60人	2
	ホームページ・ブログ・ツイッター等の運営・管理	通年		1人	-	48
	講演事業	コミュニティセンターZEL主催「HIV陽性者と語ろう」	11月25日(土)	岩手県盛岡市	1人	3人

# NPO 法人レッドリボンさっぽろ 2023 年度活動内容報告

## 1. エイズ電話相談

毎週火曜日 19:00～22:00 にフリーダイヤルにて実施しています。長引く緊急事態宣言やまん延防止措置により 2023 年度の相談件数は 2022 年度から 27 件増加し 222 件となりました。新しい予防方法である PrEP や PEP に関する相談も増えています。

(画像はイメージです)

また、2023 年度は前年度に作成したエイズ電話相談の広報資材をポケットティッシュに入れ、イベントなどで 500 個配布いたしました。



## 2. キルト製作

2023 年 5 月から新型コロナが 5 類感染症に移行したことから、本格的に事務所に集まったの活動を再開しました。製作した作品は、オークションや個人売買をし、収益をアフリカにて HIV 陽性者や遺児支援を行う NPO 法人 PLAS 様に寄附しています。

(画像は 2018 年に撮影したものです。)



## 3. HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO

HIV 陽性者の相談場所のひとつとして、そしてコミュニケーションの場として HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO を開催しています。2023 年度は 4/15 (土)、6/17 (土)、10/21 (土)、2/17 (土) に札幌市内の公共施設で実施しました。8 月・12 月については参加申込が少なかったため中止としました。

(画像は 2020 年 2 月撮影)(参加人数 4/15:5 名、6/17:5 名、10/21:4 名、2/17:5 名)



2013 年 9 月に初めて開催し、2014 年からは定期開催してきた HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO は 2024 年 2 月の開催で 50 回目となり、これまでの延べ参加人数は 440 人となりました。

#### 4. 北海道医療大学 大学祭「九十九祭」ブース出展・ステージ発表

6月17日(土)～6月18日(日)に4年ぶりの開催となる北海道医療大学 大学祭「九十九祭」にブース出展をし、6月18日(日)には久しぶりのステージ発表を行いました。



#### 5. Groovin'herd Jazz Orchestra LIVE 資材配布

7月2日(土) Groovin' herd Jazz Orchestra LIVE 2023 Vol.1 が札幌市市民交流プラザ・クリエイティブスタジオにて、11月18日(土) Groovin' Herd Jazz Orchestra LIVE 2023 Vol.2 が、生活支援型文化施設コンカリーニョで、3月9日(土)には Groovin' Herd Jazz Orchestra LIVE 2024 Vol.1 がEL MANGO (札幌市中央区南7条西3丁目青樹社ビルB1F)にて開催され、主催者にご協力いただき、ライブ会場受付にて、当会の活動リーフレットとLGBT啓発資材を配架しました。

#### 6. SAPPORO GAY NIGHT コンドーム配布

一般社団法人にじいろほっかいどう様(※)と共同で実施をしている MSM ALL JAPAN の事業として、7月22日(土) GLOVE WITH AQUA STYLE にて行われた SAPPORO GAY NIGHT Summer Premium において、コンドームを200個配布いたしました。

※2023年9月ににじいろほっかいどうは一般社団法人となりました。



#### 7. ラジオ出演

STV ラジオにて好評放送中の『Knock on the Rainbow』9月2日(土)放送にミツルさんがゲストとして出演し、HIV 陽性者としての話や札幌市保健所で実施する『LGBTのためのエイズ検査会』や『コンビネーション予防とPrEP講演会』についてPRをした他、9月12日・9月26日札幌市内の三角山放送局の「にじいろスマイルラジオ」に代表の沼田がPRとあわせて基礎知識の話やU=Uなどの最新情報などをお話しました。

また、世界エイズデーに合わせ11月28日・12月5日放送において三角山放送局の「にじいろスマイルラジオ」に代表の沼田が出演したほか、11月21日にFMドラマシティで放送した『高橋愛紀が贈る SOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella』に事務局長の秋山が出演しました。



#### 8. コンビネーション予防とPrEP開催

一般社団法人にじいろほっかいどう様(※)と共同で実施をしている MSM ALL JAPAN の事業として、9月15日(金)19:00～21:30 札幌エルプラザ 4F 大研修室B・Cにて対面・zoomのハイブリッ



ドにて開催しました。

講師として 2023 年 3 月まで札幌医科大学にて HIV 陽性者の診察をおこない、現在は医療法人社団池田内科で副院長を務める池田博さん、ふれいす東京代表の生島嗣さんにお話をいただいたほか、札幌市内で初めて PrEP 処方をはじめられた宮の森レディースクリニック院長の池田詩子さんに加わっていただきパネルディスカッションを行いました。当日は会場で約 30 名、Web で 25 名の方にご参加いただきました。

**参加無料!!・講演会開催!!**  
今、知っておきたい HIV の基礎知識と新しい予防方法  
**コンビネーション予防と PrEP**

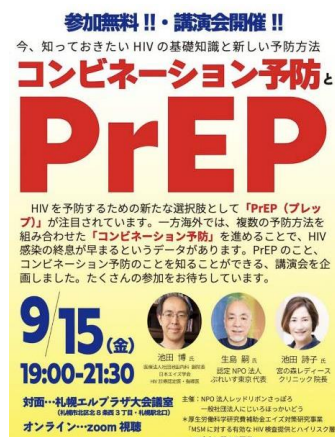
HIV を予防するための新たな選択肢として「PrEP (プレップ)」が目ざされています。一方海外では、複数の予防方法を組み合わせた「コンビネーション予防」を進めることで、HIV 感染の発症が早まるというデータがあります。PrEP のこと、コンビネーション予防のことを知る事ができます。講演会を企画しました。たくさん参加をお待ちしています。

**9/15 (金)**  
**19:00-21:30**

対面…札幌エルプラザ大会議室  
(札幌市中央区南 3 丁目 1-10 札幌エルプラザ)

オンライン…zoom 視聴

主賓：NPO 法人レッドリボン さっぽろ  
一般社団法人にじいろさっぽろ  
\*厚生労働省学術振興機構による学術研究助成事業  
\*NISM に対する有効な HIV 検査提供と HIV リスク管理への介入に関する助成金



## 9. さっぽろレインボープライド参加



9 月 16 日 (土) ~ 9 月 17 日 (日) 実施。

歩行者天国となった南 1 条通の西 3 丁目に当会としては初めて、開催された 2 日間共ブースを出展しました。

総動員数は約 2 万人 (さっぽろレインボープライド実行委員会発表) また、さっぽろレインボープライド HP に上のバナー広告も掲載しました。



## 10. 札幌市ゲイ・バイ男性向けエイズ検査会協力 (広報・相談員派遣)

10 月 1 日 (日) 9:30~11:30 13:30~15:30

札幌市白石区保健センターにて実施

例年さっぽろレインボープライド関連イベントとして開催し、毎年レッドリボンさっぽろでは、検査会の広報と、検査会へ相談員の派遣を実施しています。

2023 年度については M+F の参加者を増やすことを目的に LGBT のためのエイズ検査会に名称を変更。コロナ禍直前の 2019 年度と同じ検査数となる 80 名の予約枠で受け付けし、当日は 59 名が受検しました。



## 11. HIV 検査相談担当者研修会

社会福祉法人はばたき福祉事業団北海道支部が主催した HIV 検査相談担当者研修会が 10/28 (土) に開催され、当会からは相談員の秋山が参加しました。

## 12. イオン黄色いレシートキャンペーン店頭呼びかけ

毎月 11 日のイオンデーに買い物をすると発行される黄色いレシートを専用 BOX に投函すると、レシート合計金額の 1% にあたる品物が地域のボランティア団体などに寄付される「イオン黄色いレシートキャンペーン」。当会のボックスがあるイオン札幌苗穂店にて、11 月 11 日と 2 月 11 日に店頭呼びかけを行い



ました。たくさんのお客様が、黄色いレシートを専用ボックスに投函してくださいました。2023年度も本当に多くの皆様から支援をいただき、50,800円分のイオンギフトカードを贈呈いただきました。

### 13. HIV陽性者と語ろうオンラインイベントへの登壇

11月25日(土)仙台のHIVコミュニティセンターZEL主催により、盛岡市内にてHIV陽性者と語ろうが開催され、当会からミツルさんが登壇しました。



### 14. 第37回日本エイズ学会への参加

現地開催・ライブ配信：12月3日(金)～12月5日(日)  
 オンデマンド配信：12月19日～1月9日  
 会場：リーガロイヤルホテル京都



2023年度も現地開催も合わせたハイブリッド開催となりました。1名が現地で参加し、昨年までと同様に事務所でのオンライン視聴を行いました。また、現地のCBOブースに当会のパンフレットやラバーバンド、電話相談の広報ツールを折り込んだポケットティッシュなどを配架しました。

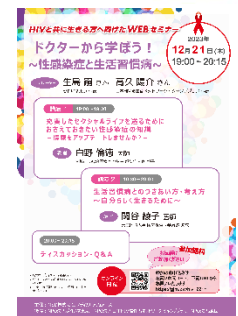
### 15. イルファー釧路主催『師走講演会』への参加

イルファー釧路様が例年実施している師走講演会が12月10日(日)に対面とオンラインのハイブリッドで開催されました。これまで約20年にわたって活動を続けてきましたが情勢の変化などによりこの師走講演会を持って解散することとなったため、当会からは沼田と秋山が現地に訪問し参加しました。



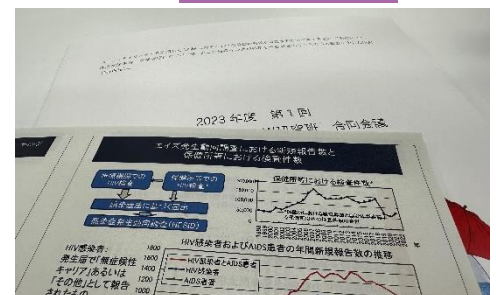
### 16. ドクターから学ぼう！～性感染症と生活予防～への参加

MSD株式会社 メディカルアフェアーズ様主催による、ドクターから学ぼう！～性感染症と生活予防～が12月21日(木)にオンラインで開催され、代表の沼田が参加しました。



### 17. 厚労省研究班『MSM ALL JAPAN』班会議への出席

全国各地で『MSM ALL JAPAN』として活動する全国のCBOの活動報告と意見交換を兼ねた班会議が12月22日(金)～12月24日(日)の3日間の日程にて名古屋市内で開催されました。北海道での事業を共同で行う(一社)にじいろほっかいどう様と出席をし、当会からは沼田と秋山が出席しました。





## 18. 配布用オリジナルコンドーム作成

bda オーガニック様よりいただいた助成金により当会オリジナルパッケージのコンドームを作成することとなり、2022年9月のさっぽろレインボープライドにて行ったアンケート結果などをまとめ、サイズ別のコンドームを作成いたしました。当初は2023年のさっぽろレインボープライドにて配布を行う予定でしたが、諸般の事情で完成が2024年1月にずれ込んでしまいました。1/13に開催した「ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE SAPPORO」で配布を行ったほか、今後2024年度に開催するイベントにて配布を予定しています。



## 19. ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE SAPPORO

1月13日(土)ゲイ・バイ男性向け交流会×HIV学習会「UPDATE!」を、(一社)にじろほっかいどうと共催で開催しました。クイズを用いたHIV/エイズの基礎知識のほか、感染の広がりを考えるワークやコンドームの正しい着け方を体験するワークなどを行い、HIV/エイズについて楽しく学ぶ機会となりました。



## 20. mabui大学! 「知りたいさ〜、沖縄の実情、PrEP入門」の参加

沖縄県・那覇市内にあるHIVコミュニティセンター『mabui』において1月19日(金)に対面・オンラインのハイブリッド開催されました。沖縄県におけるHIVの現状のほか、PrEP in JAPANにて作成された、これからPrEPの利用を考えている人のための動画が紹介されました。当会からは代表の沼田と事務局長の秋山が参加しました。



## 21. 2023年度第6回臨床検査セミナー「梅毒の流行状況と検査について」への参加

1月24日(水)2023年度第6回臨床検査セミナー「梅毒の流行状況と検査について」が開催され、代表の沼田が参加しました。

## 22. 事例で学ぶ コミュニティ立ち上げ、研究、アドボカシー への参加

日本健康教育学会アドボカシー研究会と特定非営利活動法人aktaの共催により、1月27日(土)に、事例で学ぶ コミュニティ立ち上げ、研究、アドボカシー-ゲイコミュニティと抗HIV薬の予防適用政策を例に- がオンラインにて開催され、代表の沼田と事務局長の秋山が参加しました。



## 23. 目指そう！認定 NPO 法人セミナー&交流会

2月16日(金)札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課主催により、目指そう！認定 NPO 法人セミナー&交流会が札幌エルプラザにて開催され、事務局長の秋山が参加しました。現在認定 NPO として活動されている団体の代表様からは、『私たちも面倒そうだしいいかなと思っていただけ、取得のきっかけは札幌市の担当職員さんから声をかけられたこと。難しいと考える前に相談してみても？』とのアドバイスがとても印象に残りました。2024年度は認定取得を目指し活動をしていきたいと考えています。

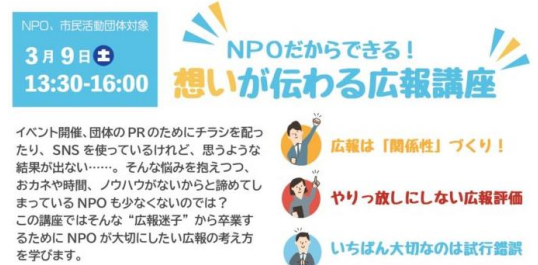
## 24. 札幌市エイズ対策推進協議会出席

2月15日(木)札幌市保健所において札幌市エイズ対策推進協議会が開催され、委員である代表の沼田が出席しました。今回は対面での開催となり、札幌市における現状や2023年度の取り組みなどについて報告がありました。

## 25. NPO だからできる！想いが伝わる広報講座への参加

3月9日(土)札幌市市民活動サポートセンター主催による


『NPO だからできる！想いが伝わる広報講座』が札幌エルプラザにて開催され、代表の沼田と事務局長の秋山が参加しました。広報手段の一つであるマスコミを通じて情報提供をするパブリシティの活用などについて学ぶことができました。ここ数年プレスリリースの投げ込みは行っておりませんでした。今後はプレスリリースの投げ込みについても積極的に行い、支援者の輪・スタッフの輪を拡げていきたいと考えています。



NPO、市民活動団体対象  
3月9日(土) 13:30-16:00  
NPO ならではの！  
想いが伝わる広報講座

イベント開催、団体の PR のためにチラシを配ったり、SNS を使っているけれど、思うような結果が出ない……。そんな悩みを抱えつつ、おカネや時間、ノウハウがないから諦めてしまっている NPO も少なくないのでは？ この講座ではそんな“広報迷子”から卒業するために NPO が大切にしたい広報の考え方を学びます。

- 広報は「関係性」づくり！
- やりっ放しにしない広報評価
- いちばん大切なのは試行錯誤



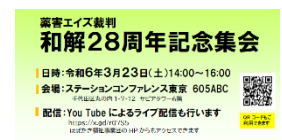
講師 野口 将輝 Masateru Noguchi  
金沢星稜大学 経済学部経営学科 教授  
大学卒業後、北陸銀行に入行。その後、北海道大学にて修士・博士号を取得。日本学術振興会 特別研究員を経て、小樽商科大学准教授に兼任。同時に、札幌市立大学大学院で非常勤講師(地域ブランド構築特論)を担当。2020年より金沢星稜大学 経済学部経営学科に兼任。2023年度教授。近年は、加賀温泉エリアのブランディングを研究中。

## 26. 薬害エイズ裁判 和解 28 周年記念集会への参加

3月23日(土)ステーションコンファレンス東京にて、和解から28年を記念した『薬害エイズ裁判 和解 28 周年記念集会』が開催され、YouTube によるライブ配信にて代表の沼田が参加しました。

この記念集会で行われた櫻井よしこ氏の講演「薬害エイズ事件当時の報道を振り返って」の動画については、はばたき福祉事業団様の YouTube チャンネルで公開されておりますので、お時間がございましたらぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=B6qI1cb7SGg>



薬害エイズ裁判  
和解 28 周年記念集会

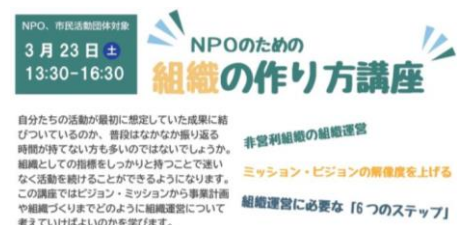
- 日時:令和6年3月23日(土)14:00~16:00
- 会場:ステーションコンファレンス東京 605ABC
- 配信:YouTube によるライブ配信も行います



## 27. NPO のための組織の作り方講座への参加

3月23日(土)札幌市市民活動サポートセンター主催による


『NPO のための組織の作り方講座』が札幌エルプラザにて開催され、事務局長の秋山が参加しました。



NPO、市民活動団体対象  
3月23日(土) 13:30-16:30  
NPO のための  
組織の作り方講座

自分たちの活動が最初に想定していた成果に結びついているのか、普段はなかなか振り返る時間がない方も多いのではないだろうか。組織としての目標をしっかりと持つことで思いなく活動を進めることができるようになります。この講座ではビジョン・ミッションから事業計画や組織づくりまでどのように組織運営について考えていけばよいかを学びます。

- 非営利組織の組織運営
- ミッション・ビジョンの明確度を上げる
- 組織運営に必要な「6つのステップ」



講師 堤 大介 Daisuke Tsutsumi  
ファンドレイジング・コンサルタント  
大学卒業後天啓社会にて新機軸事業開発や広告企画に従事。2011年よりプロボノとして複数の NPO の実業や立ち上げを経験し、2016年よりコンサルタントとして非営利組織支援に携わる。東京での事業開発等の経験や、学生ボランティア・社会人プロボノ・コンサルタントとして得た非営利組織の運営ノウハウを元にビジョン・ミッション策定、事業計画策定、ファンドレイジング、マーケティング、ボランティアマネジメントなど幅広いテーマで支援を行っている。

## 28. 札幌市さぽーとほっと基金パンフレットラック配架

2023 年度も通年でイオンモール札幌苗穂店・イオンモール発寒店にパンフレット等を配架することができました。



## 29. ホームページ・ブログ・Twitter・Facebook の定期更新

レッドリボンさっぽろでは独自ドメインを取得し、ホームページの製作は他社に委託せず全て自らが作成しています。

HP・ブログ・Twitter・Facebook を定期的に更新し、イベントなどの情報を発信しています。



## 30. 札幌市内にある民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」協力

レッドリボンさっぽろでは 2007 年に開設した民間 HIV 検査施設「サークルさっぽろ」の広報担当をしており、イベントでの広報資材配布を行っているほか、開設以来ボランティアスタッフを派遣しています。

2023年度活動計算書

(単位:円)

勘定科目	2023年度予算	2023年度決算	備考
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
会費区分			
正会員費	48,000	36,000	
賛助会員費	59,000	73,000	
キルト会員費	17,500	17,500	2024年3月現在キルト会員7名
受取会費計	124,500	126,500	
2. 受取寄付金	300,000	112,596	
3. 受取助成金			
エイズ予防財団	0	0	
さぽーとほっと基金	100,000	100,000	2022年度分が2023年度に入金
イオン黄色いレシート	51,100	51,100	2023年4月贈呈分
その他助成金	200,000	0	bdaオーガニック助成金。2024年度に支払予定
受取助成金計	351,100	151,100	
4. 事業収益			
陽性者支援事業(ななかまど)	20,000	7,500	陽性者交流会 参加費@500 対面実施3回
電話相談事業	150,000	269,880	LGBTほっとライン
キルト事業	90,000	96,100	ヤフオクなどでの販売
普及啓発事業	97,000	147,890	サークルさっぽろバナー広告料・MSM検査会・MSM ALL JAPAN事業
講演事業	0	0	
事業収益計	357,000	521,370	
5. その他収益			
受取利息	5	3	利息
雑収入		0	
その他収益計	5	3	
<b>経常収益計</b>	<b>1,132,605</b>	<b>911,569</b>	
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	66,000	140,400	LGBTほっとライン・さっぽろレインボープライドスタッフ手当
人件費計	66,000	140,400	
(2) その他経費			
旅費交通費	45,000	53,690	LGBTほっとライン
通信費	198,048	171,707	フリーダイヤル料など
印刷製本費	180,200	0	電話相談広報資材・MSM検査会WEB広告制作費
材料費	50,000	59,879	キルト材料費
会議費	15,000	10,071	交流会会場費・ゆうそう検査会場費
荷造発送費	8,000	15,096	電話相談リスト発送費・キルト販売発送費
事務消耗品費	0	0	
消耗品費	33,000	67,048	ゆうそう検査・さっぽろレインボープライドブース備品等
業務委託料	130,000	233,000	さっぽろレインボープライドバナーデザイン委託費、コンドーム制作委託費
広告宣伝費	0	50,000	さっぽろレインボープライドバナー広告費
諸謝金	20,000	0	
複写費	0	0	
支払手数料	14,375	16,415	キルト部門ヤフオク!各種手数料
交際費	0	12,000	9/15開催 コンビネーション予防とPrEP講師懇親会費
雑費	60,000	80,000	キルト PLASさんへの寄付 さっぽろレインボープライドブース出展料
その他経費計	753,623	768,906	
<b>事業費計</b>	<b>819,623</b>	<b>909,306</b>	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	0	0	
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
地代家賃	180,000	180,000	家賃
水道光熱費	106,000	100,583	水道¥40,920・電気¥59,663
消耗品費	5,000	0	
支払手数料	1,500	0	
荷造発送費	0	0	
研修費	10,000	0	
保険料	5,000	3,150	ボランティア保険料・事務所火災保険料(2年分)
交際費	5,000	0	
租税公課	0	350	登記簿謄本取得など
雑費	0	0	
その他経費計	312,500	284,083	
<b>管理費計</b>	<b>312,500</b>	<b>284,083</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>1,132,123</b>	<b>1,193,389</b>	
当期正味財産増減額	482	-281,820	
前期繰越正味財産額	962,340	962,340	
次期繰越正味財産額	962,822	680,520	うち、クリス基金252,759円



# 2023年度 レッドリボンさっぽろ 事業別決算

科目	陽性者支援事業(ななかまど)			電話相談事業			キルト事業			普及啓発事業			講演事業			事業部門計			管理部門			合計			
	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	予算	実績	予算比	
<b>I 経常収益</b>																									
1. 受取会費	0	0		0	0		17,500	17,500	100.0%	0	0		0	0		17,500	17,500	100.0%	107,000	109,000	101.9%	124,500	126,500	101.6%	
正会員費																0	0		48,000	36,000	75.0%	48,000	36,000	75.0%	
賛助会員費																0	0		59,000	73,000	123.7%	59,000	73,000	123.7%	
キルト会員費							17,500	17,500	100.0%							17,500	17,500	100.0%				17,500	17,500	100.0%	
2. 受取寄付金								2,360								0	2,360		300,000	110,236	36.7%	300,000	112,596	37.5%	
3. 受取助成金等	0	0		100,000	100,000	100.0%	0	0		200,000	0	0.0%	0	0		300,000	100,000	33.3%	51,100	51,100	100.0%	351,100	151,100	43.0%	
エイズ予防財団																0	0					0	0		
さぽーとほっと基金				100,000	100,000	100.0%										100,000	100,000	100.0%				100,000	100,000	100.0%	
イオン黄色いレシート																0	0		51,100	51,100	100.0%	51,100	51,100	100.0%	
その他助成金										200,000		0.0%				200,000	0	0.0%				200,000	0	0.0%	
4. 事業収益	20,000	7,500	37.5%	150,000	269,880	179.9%	90,000	96,100	106.8%	97,000	147,890	152.5%				357,000	521,370	146.0%				357,000	521,370	146.0%	
5. その他収益																0	0		5	3	60.0%	5	3	60.0%	
<b>経常収益計</b>	<b>20,000</b>	<b>7,500</b>	<b>37.5%</b>	<b>250,000</b>	<b>369,880</b>	<b>148.0%</b>	<b>107,500</b>	<b>115,960</b>	<b>107.9%</b>	<b>297,000</b>	<b>147,890</b>	<b>49.8%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>674,500</b>	<b>641,230</b>	<b>95.1%</b>	<b>458,105</b>	<b>270,339</b>	<b>59.0%</b>	<b>1,132,605</b>	<b>911,569</b>	<b>80.5%</b>	
<b>II 経常費用</b>																									
(1) 人件費																									
役員報酬																0	0					0	0		
給料手当				66,000	139,400	211.2%				1,000						66,000	140,400	212.7%				66,000	140,400	212.7%	
法定福利費																0	0					0	0		
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>66,000</b>	<b>139,400</b>	<b>211.2%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>1,000</b>		<b>0</b>	<b>0</b>		<b>66,000</b>	<b>140,400</b>	<b>212.7%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>66,000</b>	<b>140,400</b>	<b>212.7%</b>	
(2) その他経費																									
旅費交通費				45,000	47,500	105.6%				6,190						45,000	53,690	119.3%				45,000	53,690	119.3%	
通信費				150,000	123,659	82.4%				48,048	48,048	100.0%				198,048	171,707	86.7%				198,048	171,707	86.7%	
印刷製本費	10,200		0.0%							170,000		0.0%				180,200	0	0.0%				180,200	0	0.0%	
材料費							50,000	59,879	119.8%							50,000	59,879	119.8%				50,000	59,879	119.8%	
会議費	15,000	10,071	67.1%													15,000	10,071	67.1%				15,000	10,071	67.1%	
荷造発送費							8,000	7,480	93.5%		7,616					8,000	15,096	188.7%				8,000	15,096	188.7%	
事務消耗品費																0	0					0	0		
消耗品費	1,000		0.0%	1,500	3,344	222.9%	500	2,397	479.4%	30,000	61,307	204.4%				33,000	67,048	203.2%	5,000		0.0%	38,000	67,048	176.4%	
業務委託料										130,000	233,000	179.2%				130,000	233,000	179.2%				130,000	233,000	179.2%	
広告宣伝費										20,000		0.0%				20,000	0	0.0%				20,000	0	0.0%	
諸謝金																0	0					0	0		
複写費																0	0					0	0		
研修費																0	0		10,000		0.0%	10,000	0	0.0%	
水道光熱費	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0		106,000	100,583	94.9%	106,000	100,583	94.9%	
電気																0	0		65,000	59,663	91.8%	65,000	59,663	91.8%	
ガス																0	0					0	0		
水道																0	0		41,000	40,920	99.8%	41,000	40,920	99.8%	
地代家賃																0	0		180,000	180,000	100.0%	180,000	180,000	100.0%	
支払手数料	275		0.0%	275			13,000	15,270	117.5%	1,100	870	79.1%				14,375	16,415	114.2%	1,500		0.0%	15,875	16,415	103.4%	
交際費											12,000					0	12,000		5,000		0.0%	5,000	12,000	240.0%	
保険料																0	0		5,000	3,150	63.0%	5,000	3,150	63.0%	
租税公課																0	0			350		0	350		
雑費							60,000	60,000	100.0%		20,000					60,000	80,000	133.3%				60,000	80,000	133.3%	
<b>その他経費計</b>	<b>26,475</b>	<b>10,071</b>	<b>38.0%</b>	<b>196,500</b>	<b>174,778</b>	<b>88.9%</b>	<b>131,500</b>	<b>145,026</b>	<b>110.3%</b>	<b>399,148</b>	<b>439,031</b>	<b>110.0%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>753,623</b>	<b>768,906</b>	<b>102.0%</b>	<b>312,500</b>	<b>284,083</b>	<b>90.9%</b>	<b>1,066,123</b>	<b>1,052,989</b>	<b>98.8%</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>26,475</b>	<b>10,071</b>	<b>38.0%</b>	<b>262,500</b>	<b>314,178</b>	<b>119.7%</b>	<b>131,500</b>	<b>145,026</b>	<b>110.3%</b>	<b>399,148</b>	<b>440,031</b>	<b>110.2%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>819,623</b>	<b>909,306</b>	<b>110.9%</b>	<b>312,500</b>	<b>284,083</b>	<b>90.9%</b>	<b>1,132,123</b>	<b>1,193,389</b>	<b>105.4%</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>-6,475</b>	<b>-2,571</b>	<b>39.7%</b>	<b>-12,500</b>	<b>55,702</b>	<b>-445.6%</b>	<b>-24,000</b>	<b>-29,066</b>	<b>121.1%</b>	<b>-102,148</b>	<b>-292,141</b>	<b>286.0%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>-145,123</b>	<b>-268,076</b>	<b>184.7%</b>	<b>145,605</b>	<b>-13,744</b>	<b>-9.4%</b>	<b>482</b>	<b>-281,820</b>	<b>-58468.9%</b>	

# 監査報告書

特定非営利活動法人レッドリボンさっぽろ

理事長 沼田 栗実 殿

2024年4月20日

特定非営利活動法人レッドリボンさっぽろ

監事 伊藤 雅子

監事 長瀬 直子



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実  
は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 2023年度エイズ電話相談事業報告書

■ 概要 1995年1月から開始し、毎週火曜日夜7～10時に、相談員2名体制で、電話相談を行っている。

■ 目的／経過 HIV感染に対する不安を持つ人、感染後のサポートを求める人に対する相談。

■ 結果／効果 2023年4月～2024年3月の電話相談集計結果

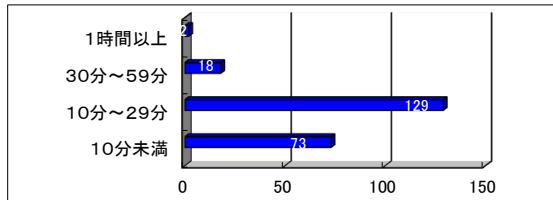
合計件数 222件

### 1、時刻

時刻	件数	割合
7:00～8:00	115	51.8%
8:00～9:00	70	31.5%
9:00～10:00	37	16.7%
合計	222	100.0%

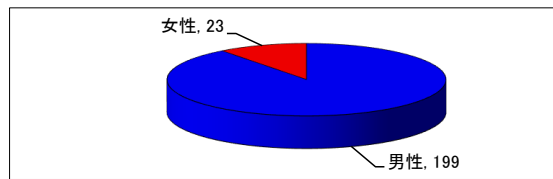
### 2、時間

時間	件数	割合
10分未満	73	32.9%
10分～29分	129	58.1%
30分～59分	18	8.1%
1時間以上	2	0.9%
合計	222	100.0%



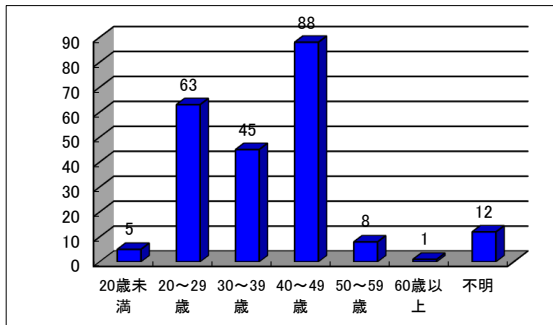
### 3、性別

性別	件数	割合
男性	199	89.6%
女性	23	10.4%
他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	222	100.0%



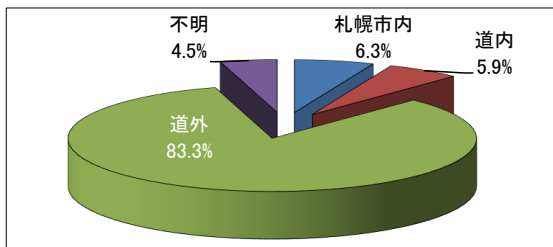
### 4、年齢

年代	件数	割合
20歳未満	5	2.3%
20～29歳	63	28.4%
30～39歳	45	20.3%
40～49歳	88	39.6%
50～59歳	8	3.6%
60歳以上	1	0.5%
不明	12	5.4%
合計	222	100.0%



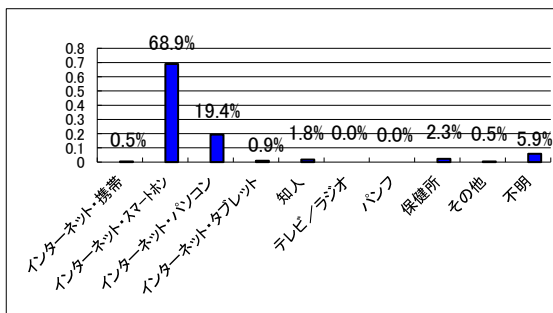
### 5、地域

地域	件数	割合
札幌市内	14	6.3%
道内	13	5.9%
道外	185	83.3%
不明	10	4.5%
合計	222	100.0%



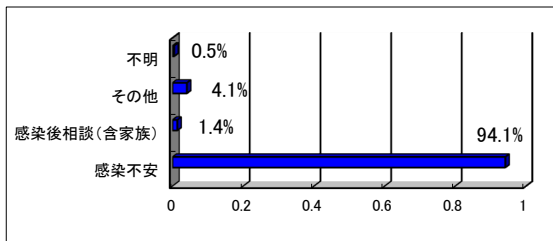
### 6、情報源

情報源	件数	割合
インターネット・携帯	1	0.5%
インターネット・スマートフォン	153	68.9%
インターネット・パソコン	43	19.4%
インターネット・タブレット	2	0.9%
知人	4	1.8%
テレビ／ラジオ	0	0.0%
パンフ	0	0.0%
保健所	5	2.3%
その他	1	0.5%
不明	13	5.9%
合計	222	100.0%



### [相談内容]

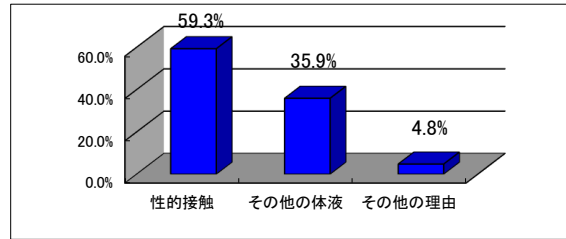
相談内容	件数	割合
感染不安	209	94.1%
感染後相談(含家族)	3	1.4%
その他	9	4.1%
不明	1	0.5%
合計	222	100.0%



## 1、感染不安の不安要因

※相談内容「感染不安」の内の不安要因

	件数	割合
性的接触	124	59.3%
その他の体液	75	35.9%
その他の理由	10	4.8%
合計	209	100.0%



## 2、検査についての相談

	件数
あり	82
なし	127
合計	209

## 3、他の性感染症についての相談

※不安要因が「性的接触」の内の相談

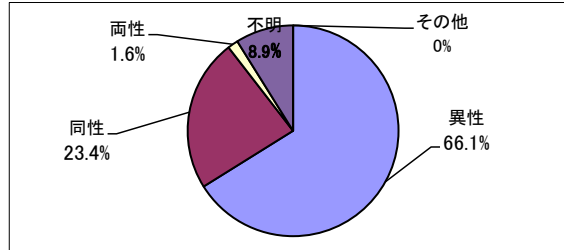
	件数
あり	10
なし	199
合計	209

## 4、エイズ不安症候群

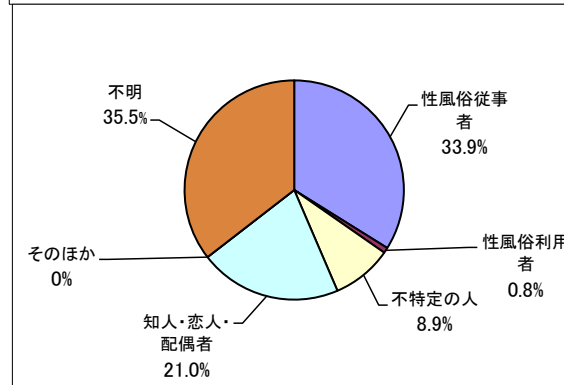
	件数
あり	51
なし	158
合計	209

## 5、性行為の相手

	件数	割合
異性	82	66.1%
同性	29	23.4%
両性	2	1.6%
不明	11	8.9%
その他	0	0.0%
合計	124	100.0%



	件数	割合
性風俗従事者	42	33.9%
性風俗利用者	1	0.8%
不特定の人	11	8.9%
知人・恋人・配偶者	26	21.0%
そのほか	0	0.0%
不明	44	35.5%
合計	124	100.0%



## 6、行為内容※コンドームに関して

	不使用	最初から使用	途中から使用	さけた・はずれた	つけたりつけなかったり	不明
膣性交	24	14	0	2	0	0
肛門性交	16	1	0	2	2	1
フェラチオ	45	1	0	0	0	2
クニリングス	7	0				
素股	15					
キス	15					
その他	30					

※月別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期計
	10	22	22	18	19	31	122
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期計
	30	17	14	14	17	8	100
							年間計
							222

### ■分析

- 件数は昨年度の195件（一日平均3.8件）から222件（一日平均4.4件）と年間受付件数は増加した。（昨年度は年間51回、今年度は年間50回の相談受付日数）  
GW後から新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行をし、外出などにより性交渉の機会が増え、相談件数が増加すると予測していたが日常生活におけるHIV感染に不安を抱える方やセクハラと思われる特定の方と思われる相談が多くあったため、件数としては増加したが、まだコロナ禍以前の相談件数に戻るにはまだ時間がかかると考える。
- 国内でのPrEPおよびPEP（nPEP：性行為による暴露後予防）を診断・処方するクリニックが広がるにつれ、PEP・PrEPに関する相談や予防方法として提案する機会も来ており、今後も継続してPrEP・PEPに対する知識の拡充と適切な対応を当電話相談では心がけていきたい。
- 情報源としては、インターネット（携帯・スマホ・PC・タブレット）からが87%を占めている。当会ではインターネットでのアクセス向上を目指しているが上記の通り電話相談件数の回復には至っていない。2024年度はエイズ予防財団の助成金を受けることができたため、電話料金への活用と併せて電話相談の広報資材配布をイベント等で行うなど、さらなるアクセス向上に努めたい
- 相談員は2023年度から1名減となり2名体制で実施した。相談員の仕事の都合で日にち・時間によって2名体制の維持が難しいケースもあり、受話品質向上に努めるとともに、新たな相談員の確保・育成による受話体制の整備が急務となっている。



## 当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

### ●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を2014年6月より定期開催。

※2023年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

### ●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

### ●経過:

- ・ 「くれば一緒に」 予約制 毎月第2・第4日曜日 13:00-15:00
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 偶数月第3土曜日開催 2023年度は全てを札幌で開催  
期日 4月15日・6月17日・8月19日・10月21日・12月17日・2023年2月17日

### ●結果・効果:

- ・ 2023年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2023年度の参加延べ人数は19名となり、これまでの開催50回で参加延べ人数は440名となった。(昨年度は全3回で20名  
4/15:5名、6/17:5名、10/21:4名、2/17:5名)

### ●課題:

- ・ 「くれば一緒に」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。事前予約をした上で対面での相談というハードルもあるため、今後はzoomなどのwebコミュニケーションツールを活用したオンライン相談や、事前に日時を定めて実施するオンライン相談会についても検討をしていきたい。
- ・ 2022年度にはじめて実施した「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」の地方開催については、スタッフの減少により開催を見送った。2024年度についても同様であり、今後スタッフの増員・育成が急務となっている。
- ・ コロナ禍が明け参加者数の回復を見込んでいたが、想定を大きく下回り、2023年度においても8月・12月は参加申し込みが少なく中止とした。行動制限がなくなりこれまで利用していた参加者の卒業などが要因として挙げられるため、2024年度はフライヤーを製作し、保健所・拠点病院へ「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」開催について改めて周知を図り、新規利用者の開拓につなげていきたい。
- ・ また、HIV 陽性者の総合情報サイトであるFutures Japanのイベントページに全国で開催されるピアミーティングについての情報が掲載されている。昨年11月に全国 HIV 陽性者ピアサポート円卓会議がオンラインにて開催され、そのURLをQRコードにして印刷した資材をぶれいす東京様に作成し、全国の保健所・拠点病院等へ配布することとなっている。
- ・ HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO については2024年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。

## キルト部門 活動報告

報告:キルト会員 佐々木 一世

### ●2023年度 活動結果報告

#### 1.キルト作品の制作

- オーダー作品の受け渡し  
2023.05.29 足元マット(昨年受注分)引き渡し  
オーダー3件受注
  - 1) 2023.04.09 受注 2023.08.28 発送 一人掛けソファ用キルト
  - 2) 2023.08.31 受注 2024.01.11 発送 “ (2枚目)
  - 3) 2023.01.15 受注 2024.02.15 発送 巾着 5点
- 寄付されたサンプラーキルトキットの完成  
オーダー作品作りで据え置き
- クリスマス用作品の完成  
作品は完成したが落札ならず
- キルト会委員の高齢化の対応  
無理せずに継続  
毎週火曜日、事務所での制作が定着  
自主的な自宅製作もあった

#### 2.キルト作品の販売収益の維持・増加

- ヤフオク 11点出品、7点落札
- 今年度は、落札が少なかったが、オーダー品に助けられた
- 出品作品のスタート金額設定に苦慮
- 個人販売2件あり

#### 3.NPO 法人エイズ孤児支援、NGO・PLAS を通しての寄付

- 6/1 : 30,000 円 10/25 : 30,000 円 合計 60,000 円で目標達成

### ●2023年度の課題・その他の他

#### 1.在庫中の生地のかし方

- スクラップキルト的な作品制作が多く、それなりに活かされた

#### 2.新しい生地の購入の検討

- 裏地等の購入は必要に応じて購入した

#### 3.製作作品のアイデア探し

- スマホアプリで探したり、会員の在庫品等で作品を制作

◎2024 年度の活動目標

- 1.キルト作品の制作
  - 寄付されたサンプラーキルトキッドの完成
  - 会員は無理せずに継続していければ良い
- 2.キルト作品の販売収益の維持・増加の検討
- 3.NPO 法人エイズ孤児支援、NGO・PLAS を通じての寄付
  - 無理せず収益に応じた寄付

◎2024 年度の課題・その他

- 1.各自の役割分担の見直し
- 2.制作作品のアイデア探し

以上

2023年度キルト部門 ヤフオク出品作品

出品日／品名／サイズ	出品画像	金額等	出品日／品名／サイズ	出品画像	金額等
2023/03/29出品 <b>ワンちゃん</b> の行進 (107cm × 107cm)		開始 8,000円 落札 8,000円	2023/09/27出品 <b>ナインパッチ&amp;スノーホール</b> (94cm × 94cm)		開始 6,000円 落札 6,000円
2023/04/13出品 <b>ストライプピーシング</b> (79cm × 53.5cm) 2023/12/01出品 <b>新しい星の形</b> (再出品)		開始 5,000円 不落札  開始 3,000円 不落札	2023/11/09出品 <b>クリスマスタペストリー</b> (91cm × 70cm)		開始 5,000円 不落札
2023/05/10出品 <b>ダブルウェディング</b> (110cm × 110cm)		開始 7,000円 落札 8,500円	2024/02/17出品 <b>かざ車</b> (185cm × 155cm)		開始 11,000円 落札 11,500円
2023/05/20出品 <b>踏切り</b> (140cm × 115cm)		開始 10,000円 落札 10,000円	2024/02/28出品 <b>シンプルな図形を使って</b> (126.5cm × 110cm)		開始 8,500円 不落札
2023/06/21出品 <b>キティちゃん</b> (102cm × 100cm)		開始 8,000円 落札 8,000円	オーダー作品 <b>ヘキサゴン</b> (一人掛け用ソファ用) (140cm × 70cm)		9,000円 × 2
2023/07/26出品 <b>ねじれた糸巻き</b> (120cm × 96cm)		開始 6,500円 落札 9,000円	<b>巾着</b> (5点 2,000円)		

入金は、落札額に送料がプラスされています。



## 講演部門 報告

報告：沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業：沼田 HIVのリアルを伝える：秋山

●概要：学生、専門職（病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを含む）、保護者向け講演をおこなう。

●目的：HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV陽性者への理解促進、予防意識の向上を目指す。年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。HIVに感染する仕組み、HIV陽性者の通院・治療・医療費、最新のHIV治療の常識やHIV陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過：

- ① 講演部門に依頼はなく、エイズ出前授業は行っていないが、「HIVのリアルを伝える」では、例年、依頼いただいている仙台のコミュニティセンターZELから依頼があり、「HIV陽性者と語ろう」に参加できた。
- ② コロナ禍で、講演スタッフ間で集まることも難しかったが、一度ではあるが、講演スタッフで集まることができ、情報共有ができた。

●結果・効果：

- ① スタッフの繋がりもあり、道外のコミュニティセンターからお声かけがあり、2023年度も参加し、HIV陽性者のリアルを伝えられる機会を持たた。
- ② 一度しかできななかったが、講演スタッフで集まり、話し合うことができた。その際、HIV検査相談室「サークルさっぽろ」をお借りすることで、サークルさっぽろを知らなかったスタッフに知ってもらうことができた。今後の講演プログラムの「検査について」お話しする際に生かしていく。

●課題：

- ① 講演依頼がない年が続いていたため、スタッフのスキル維持を懸念していた。アシスタントを含め、講演経験を重ねるのが難しい環境でもあるため、今後もさまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強会を引き続き開催していきたい。
- ② 引き続き、実際の講演の質を保つためにも、講演の前に必ず練習の位置づけで、会の中で披露する時間を持つように徹底できるスケジュールで調整していく必要がある。
- ③ スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2024年度も年に1~3回くらいの頻度で、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- ④ 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行っていく。
- ⑤ 引き続き、講演先の依頼条件の検討（随時）と講演部門のHPの内容改訂を検討する。また、現在、HPから簡単にアクセスする方法がないため、外部から講演活動に対して、Googleフォームなどを使用しながら、アクセスしやすい環境を作っていく。
- ⑥ 2024年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力して、講演活動の幅を広げられるように調整している。

※2023年度の講演部門実績

● エイズ出前授業

実施日	主催	講演内容等	講師
2023年11月25日	コミュニティセンターZEL (宮城県仙台市)	※HIV陽性者と語ろう	秋山 満

## アウトリーチ報告

担当者：沼田 栗実

### ● 目的：

HIV/エイズに関する問題について、イベントなどを通じ、「考える」「知る」きっかけを提供する。

### ● 経過：

- ① 2023年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症も5類相当になり、定例で参加していた北海道医療大学大学祭「九十九祭」に4年振りに参加することができ、ブース出展とステージ発表ができた。また、さっぽろレインボープライドにも参加でき、ブース出展とステージPRができた。またどちらも、新しいスタッフが参加することができた。
- ② ブース出展では、オーガニックハードローション、Findom（指用のコンドーム）を企業様よりご提供いただき、配布した。また、トリップスキン（オーラルセックス用コンドーム）も購入し、ブースで配布した。コンドームもサイズ別、素材別など、種類があることを情報発信し、自分にあったコンドームや方法を考えるきっかけづくりの時間を持たせた。
- ③ イベントでのブース出展だけではなく、ラジオを通じて、HIV/エイズについての正しい知識など情報を提供・発信する事ができた。
- ④ さぽーとほっと基金パンフレットラック配架の他、Jazz ライブの受付にて広報資材を配布し、情報を提供・発信する事ができた。
- ⑤ 世界エイズデーに合わせて、Lプラザ内にエイズデーポスターの掲示を依頼し、協力いただけた。
- ⑥ 札幌市主催「ゲイ・バイ男性向け 即日 HIV 検査」の広報と相談員派遣を行うことができた。
- ⑦ 2023年度も引き続き、厚労省の研究班 MSM ALL JAPAN の取り組みに参加でき、（一社）にじいろほっかいどうと共催で、イベント「コンビネーション予防と PrEP」と「ともだちづくり×HIV/AIDS UPDATE！」の2つ企画・運営することができた。また、GAY NIGHT にてコンドームとサークルさっぽろ広報カードの配布ができた。
- ⑧ 世界エイズデー札幌実行委員会主催の企画に参加することができた。
- ⑨ 助成金事業の一環で、サイズ別のオリジナルコンドームを制作できた。
- ⑩ 世界エイズデー札幌実行委員会、（一社）にじいろほっかいどう、WAVE さっぽろ、さっぽろレインボープライド実行委員会、Qwe're、にじいろスマイル等、他団体と共に活動できた。

### ● 結果・効果：実施イベント等

- ① イベントについては以下の通り、参加・協力した。

日付	参加イベント・参加スタッフ人数等
6月17日 18日	北海道医療大学大学祭「九十九祭」 ブース出展/ステージ発表 スタッフ参加 5名
9月2日	Knock on the Rainbow@STV ラジオ スタッフ参加 1名 LGBTのためのエイズ検査会の告知とHIVについて
9月12日	にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加 1名 イベント告知とHIVの予防や検査についてのおはなし。
9月15日	さっぽろレインボープライド関連イベント「コンビネーション予防と PrEP」 （一社）にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 3名

9月16日 17日	さっぽろレインボープライド ブース出展/ステージPR スタッフ参加 3名(当日まで準備も含む)
10月1日	札幌市LGBTのためのエイズ検査会協力(広報・相談員派遣) スタッフ2名(相談員1名 準備手伝い1名)
11月21日	高橋愛紀が贈るSOGI-Mamii's ハピネス♥Umbrella☂@FMドラマシティ スタッフ参加 1名 世界エイズデーについてのお話。
11月28日 12月5日	にじいろスマイルラジオ@三角山放送局 スタッフ参加1名 世界エイズデーについてのお話
12月1日	世界エイズデー札幌実行委員会企画への協力 レッドリボンスタディーカードの時計台前配布 協力 スタッフ参加1名
1月13日	ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE! @中央区民センター -社) にじいろほっかいどうと共催 スタッフ参加 2名

- ② その他、イベント参加・ラジオでの発信というアウトリーチだけではなく、さっぽろレインボープライドでは公式HPにバナー広告を掲載することで、情報発信することができた。  
また、イベント時には、広報Tシャツを着用し、ブース対応等を行うことで、情報発信することができた。  
また、SAPPORO GAY NIGHTにてコンドームと検査情報(サークルさっぽろ広報カード)の配布でき、コンビネーション予防について発信できた。  
そして、Jazzライブの受付にて広報資材を配布することで、HIVに興味がない方に対する啓発につながった。
- ③ 厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の北海道での取り組みでは、「コンビネーション予防とPrEP」「ともだちづくり×HIV AIDS UPDATE!」の二つのイベントを(一社)にじいろほっかいどうと共催で開催することができた。ターゲットを絞った啓発につながった。
- ④ 2022年度bdaオーガニックの助成を受け、市内のエイズNGOのWAVEさっぽろにも協力いただきながら、サイズ別オリジナルコンドームを作成できた。これは、北海道で初めての取り組みとなっており、今後、啓発資材も作成し、一緒に配布していく。
- ⑤ 2023年度全体を通して、事務局以外のスタッフやヘルプスタッフと一緒に活動ができた。

● 課題：

2023年度は、新型コロナウイルス感染症も5類相当になり、例年ブース出展してきたイベントも復活し、北海道医療大学大学祭「九十九祭」と、「さっぽろレインボープライド」のブース出展ができた。

例年、世界エイズデーイベントの広報としてラジオ出演し、イベントの広報だけではなく、HIVの情報を発信してきたが、2022年度に続き2023年度においても、12月1日にエイズデーに限らず、9月にも情報発信ができ、年間通じて、情報を発信していくことができた。ラジオ出演を調整し、分かりやすく伝えてくれたスタッフに、この場を借りて感謝いたします。今後もラジオ等のメディア配信は引き続き行い、また、オンライン配信(SNSやYoutube等)等、新しい形でのアウトリーチ活動を検討していく必要がある。

その他、Jazzライブでの資料配布や世界エイズデーに合わせポスター掲示を呼び掛けなど、広く市民向けに啓発活動ができたと考えている。今後は、資料配布については、より手に取ってもらえるよう、ポスター掲示については協力施設を増やせるよう、活動していく課題がある。

2023 年度も引き続き、一社) にじいろほっかいどうと協力でき、研究班の事業にも取り組めた。札幌でも PrEP 診療するクリニックが出てきたが、PrEP は医師の診療の元を処方するのが望ましい医療行為であり、正しく PrEP が普及して欲しいこと、コンドームをしない性行為の推奨とならないよう、コンビネーション予防を呼び掛けていくことを目的に今後 3 年間、引き続き活動していく。

この事業は、一部業務委託として、研究班からスタッフ対し謝礼金をいただいている。前年度に引き続き、研究班の事業に協力いただいたスタッフのみに、交通費以外に謝礼金の一部から手当をお支払いしているの、平等性に欠けないよう、手当基準を見直し、安定的に手当を支払えるようにしていくことが課題であると考えている。引き続き、どのように資金を捻出していくか、アウトリーチ担当と事務局を中心に検討していきたい。

コロナも落ち着き、アウトリーチ活動も増えてくるので、HIV/AIDS について基礎的な知識だけでなく、最新情報を含め HIV/AIDS について理解を深められるよう、今後も色々な形で情報発信をしていきたい。

2024年5月12日/RRS 年次総会資料

会計 部門報告

報告：本庄 真美子

担当者：堂前智代                      補佐：本庄真美子

● 概要：

当会の収入、支出の管理をおこなう

● 目的：

- 当会の事業が円滑に進むよう資金面の状況について把握し、提言する
- NPO 法人としての会計の透明性を確保する
- 会の資金使途の優先順位について、会員に問題提起する

● 経過：

- 担当者の事情で、月1回の運営会議での精算業務を行うことができず、3カ月に1回程の頻度になってしまい、スタッフの立替えが多かった。
- キルト部門の担当者と連携し、スムーズに決算・監査が行われた

● 課題：

- 2年前に導入した、会計ソフトの入力科目を担当者が把握しきれておらず、決算を事務局長にゆだねる形になった。  
次年度は担当者で行えるように改善したい。



## 事務局報告

報告:沼田 栗実

部門概要: 事務局運営

(事務局スタッフ:代表…沼田/事務局長…秋山/会計…堂前・本庄)

- 目的: 月1回の運営会議、各事業の進捗管理、人材育成、事務所運営、管理など、会のスムーズな運営のために活動する。

<事務局の仕事>

- 1) 即決断が求められたときの決定機関
- 2) 運営会議の準備
- 3) 総会準備
- 4) 会計、資金繰り
- 5) 助成金の申請とその手配
- 6) メールिंगリストの管理
- 7) メールのチェック
- 8) NPO法人関連手続き
- 9) 全般的なコーディネート
- 10) 対外的な交渉など(マンション関連他)
- 11) 記録・写真・スクラップの整理・管理

- 経過:

- ① 月1回の運営会議は継続的に実施
- ② 会報は1回発行した
- ③ 事務局会議は適宜開催
- ④ 他団体、企業からの依頼に対応

- 結果・効果:

- ① 運営会議、事務局会議の実施
- ② 会報の発行 2024年2月の1回発行
- ③ 助成金獲得 なし

- 課題:

2023年度も、各々の生業がある中でも、活動に積極的に参加してくれたスタッフに、この場を借りて、お礼申し上げます。

- ① 事業面

2023年度は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症も5類相当に引き下がり、イベント等も少しずつコロナ流行以前に戻りつつある中で、少ない人数で各部事業を実施していたこともあり、事務局活動は省力にならざるを得なかったが、その中でも、前年度に引き続き、札幌市主催「LGBTのためのエイズ検査」の企画提案・広報・相談員派遣だけができ、検査機会の提供の一助となったと考えている。また、厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の活動にも引き続き協力させていただき、(一社)にじいろほっかいどうと共にイベントの企画・運営・班会議に参加することができた。また、2023年度も様々な団体・企業・行政機関のつながり、活動ができた年になったと感じている。

- ② 資金面

資金面では、助成金の獲得はできなかった。2022年度の事業に対する助成金・さぼーとほっと基金の精算払いがあったが、bda オーガニックの助成金の精算払いは、事業実施がまだ完了していないため、2024年度の精算払いになっている分が、赤字決算となっている。

助成金だけではなく、相談員派遣に伴う謝金、キルト販売の収益、会員の皆さまによる会費納入の他、ご寄附もいただき、運営できた。

### ③ 運営面

2023 年度も、短期目標を掲げ、少ない人数ながらも各部事業を実施してきた。スタッフそれぞれが、外部のオンライン研修等に積極的に参加し、研鑽につとめることもできた。市内はもとより、道内、全国の関係機関との連携も芽が出つつあると考えています。

新年度も、引き続き

(1)講演活動、電話相談のさらなる質の向上に注力する。

(2)陽性者交流会事業の継続開催を通じて、ネットワークを広げていく。

(3)次の20年を担う新規スタッフを計画的に育成するために、スタッフ募集と研修をおこなっていく。

(4)会の趣旨や考え方などをしっかり継承していける体制を作る。

(5)賛助会員や寄付者に向けた継続的なフォローや広報を引き続きおこなうのと同時に、助成金の安定的な獲得など資金面の基盤作りをする。

以上について、必要があると考え、まずは、短期目標達成を目指し、全スタッフで取り組んでいきたい。

最後に、新年度も引き続き、より多くのスタッフが、自分にあった関わり方で、活動に参加してほしいと考えている。「イベントに参加する」「事業の担当になる」という形だけではなく、イベントまでの準備や、ブログの更新、動画配信の構想・編集、資料の発送作業等々、細かい活動も多いので、できることをできる範囲で、関わってもらえるよう、事務局もメンバーリスト等を用いて、呼びかけていきたい。正会員に限らず、ヘルプスタッフからも新しい提案(些細なことでも構いません)をたくさんしてほしいと考えているので、やりたいことがあれば相談できる事務局体制を築いていきます。よろしく願いいたします。

## 2023年度 総括案

代表 沼田 栗実

2023年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症が5類相当になり、コロナ以前の状況に少しずつ戻りながら、活動してきました。コロナ禍で休止していたイベントの復活に伴う活動再開や新しい取り組みもしながら、出来ることを考え、実行してきたと思います。事業ごとに振り返り、総括していきたいと思います。

2023年度は、以下の4つの短期目標を掲げ事業を行ってきました。

- 1 HIV/エイズを取り巻くさまざまな背景を鑑み、他団体とつながりを強化する。
- 2 新しい予防方法の普及につなげるため、コンビネーション予防について伝えていく。
- 3 スタッフが参加しやすい勉強会を実施し「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。
- 4 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。

電話相談事業は、毎週火曜日の19時～22時までに行っている当会でも長い歴史のある事業です。2023年度は相談員1名が転勤のため活動を離れたため、相談員が2名になりました。相談員が仕事により、シフトに入れなかった場合もありましたが、以前相談員をしていたスタッフの協力も得ながら、2人体制を維持しながら運営することができました。

COVID-19感染症の影響もまだまだ感じており、電話相談の件数は以前ほど多くはない状況が続いています。また、何度も何度も電話相談を利用している相談者への対応は、モチベーションの維持が難しくなる時がある中で、様々なアプローチを試しながら常に「どうしたら安心できるのか?」「どのように伝えたら心配が軽減できるか?」と考えながら、諦めることなく対応してくれている相談員に感謝しています。

相談員の減員もあり、前年度のように電話相談員間で勉強会を実施することはできませんでしたが、最新情報や性感染症の情報を含め、各々が必要な外部研修に積極的に参加し、相談員それぞれが研鑽を積むことができました。研修で得た情報を生かしながら、これからも言葉選びを慎重に、相談者に寄り添えるようにしていきましょう。

また、当会の事業ではありませんが、札幌市主催の「LGBTのためのエイズ検査会」での当日の相談員派遣を引き続き行っているほか、札幌市の「LGBTに関する電話相談」の相談員として関わっているスタッフがいます。各相談それぞれの難しさがありますが、変わらず信頼される対応をしてくれている相談員に感謝いたします。これらの相談も、言葉選びを慎重に、相談者に寄り添えるようにしていきましょう。

講演事業は、COVID-19感染症が5類になりましたが、講演依頼はなく充電期間な一年となりました。平日に動ける講演スタッフの確保が継続的な課題ではありますが、講演依頼が来たら対応できるよう引き続き準備していきましょう。短期目標②にも関わることですが、この数年で、HIV感染の予防方法や検査方法の選択肢は増えています。今の時代にあった講演プログラムか吟味し、内容の見直しも検討していきましょう。

また“HIV陽性者のリアルを伝える”の講演は中期目標①につながっています。2023年度も医療福祉サービス事業者からの講演依頼はありませんでしたが、担当スタッフのつ

ながらりから道外のコミュニティセンターにおいて、引き続き陽性者の生の声を伝えていきます。HIV 陽性者の長期療養の時代に、医療福祉サービス事業者に生の声を伝えていくことも大切ですが、身近なところから伝えていくことが、当会が目指す「HIV 陽性者・AIDS 患者との共生を目指し、差別・偏見のない社会を実現」の第一歩と考えます。これからも大切に活動していきましょう。

2024 年度は、世界エイズデー札幌実行委員会とも協力しながら運営していけるようスタッフで調整しています。今後の講演活動に期待しています。

アウトリーチ事業は、当会の事業の中で、一番多くのスタッフが関われる事業です。COVID-19 感染症が 5 類相当になり、北海道医療大学大学祭「九十九祭」への参加が復活し 4 年振りに参加できました。関係者に確認したところ、大学祭実行委員の学生も経験者がいないこともあり、九十九祭への参加実績・参加経験がある団体を中心に参加依頼のお声掛けをしていたそうです。こういった状況の中で、当会にお声がかかったことは、これまでの繋がりを大切に、大学・学生さんの信頼を得ながら活動して来れたからだと思います。素晴らしいことですね。

さっぽろレインボープライドでも 2 日間ブース出展することができましたね。

いずれのブースも、色々な種類のコンドームや資料等の配布、検査の情報、PrEP や U=U の情報など、基礎知識から最新情報まで、HIV/エイズに関する正しい情報に触れることができる内容で、短期目標②につながるようコンビネーション予防を意識したブースを行うことができたと思います。ブースに立ち寄った人たちにとって、HIV の感染予防についてや性感染症について考える時間になったと思います。

また、イベントにブース出展参加するだけではなく、一般社団法人にじいろほっかいどう（以下、にじいろほっかいどう）と共催で「今、知っておきたい HIV の基礎知識と新しい予防方法～コンビネーション予防と PrEP～」と「ゲイバイ男性向け交流会×HIV 学習会『UPDATE!!』」の勉強会イベントを 2 つ開催することができましたね。共催とは言え、当会主催でイベントを行うのは数年振りで、とても嬉しいことです。他の事業もある中、にじいろほっかいどうと企画・調整し、当日運営・協力してくれたスタッフがいないとできなかったと思います。尽力してくれたスタッフの皆さんに感謝いたします。

これら以外にも、スタッフの繋がりに Jazz ライブでの受付で当会紹介リーフレット等の配布を行うことができたほか、ラジオでの情報発信やさっぽろレインボープライドの公式 HP へのバナー広告掲載による情報発信など、様々なツールを利用しながら、HIV/エイズについての情報を発信できたと思います。アウトリーチ事業のどの活動も、短期目標①の達成が短期目標②の達成につながっていることを実感します。

アウトリーチ事業は、スタッフの「やりたい!」「発信したい!」を実現できる事業です。これからもより多くのスタッフのモチベーションをくみ取り、会のみんなで情報発信していきましょう。

ななかまど PJ は、北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていくことを目的に、面談ルーム「くれば一緒に」と陽性者交流会を実施しています。くれば一緒にの問い合わせ・利用はありませんでしたが、陽性者交流会は、引き続き、運営することができましたね。

2023 年度は、スタッフがキャリアアップのため活動を離れ、陽性者交流会の当日の運営に携われるスタッフが 1 名体制になりました。広報フライヤーの制作ができていない中で病院への情報提供が十分できなかったもあり、参加申込の定員割れなどで中止せざるを

得ないこともありましたが、スタッフが適宜、開催と中止の判断を検討し適切に動いてくれたことに感謝いたします。

陽性者交流会は、毎回楽しみにしている参加者だけではなく、新規の参加者も一定数おられます。交流会の中では、自分が陽性であることを気にせずに話せる場であり、ニーズのある事業です。フライヤーの内容の検討などより効果的な広報について今後検討し、道内の陽性者の手に届く事業を今後もしていきます。

また、交流会スタッフ1名体制となっているため、陽性者スタッフの募集・育成も今後の課題です。すぐに陽性者スタッフが増えるというのは現実的ではないと思いますので、スタッフ1名の運営で内輪の会にならないよう、陽性者スタッフ以外のななかまどPJスタッフも全員で、安定した交流会が実施できるよう意識しながら、これからも運営していきます。

キルト部門は、毎週木曜日に定例で活動していただいています。2023年度も、毎年行っている特定非営利活動法人 エイズ孤児支援 NGO・PLAS 様へのキルト部門からの寄附もできましたね。そして、当会のキルトを手にした方から、好評で再度制作の依頼があったり、輪が広がっているのを感じています。

キルトは、アウトリーチでも展示をしていますが、ブースに立ち寄ってくださった方の中には、キルトの前に立ち止まりキルトを鑑賞される方は少なくありません。メモリアルキルトをはじめ、キルトに込められた想いに触れ「感じて」「考える」きっかけになっていると思います。これは、キルト会員の皆さんの一針がなければ出来ないことです。

一針一針丁寧に、愛情をこめて、制作していただいているキルト会員の皆さまに大変感謝しています。

全体を通して、2023年度は、COVID-19感染症も落ち着き、少しずつ以前のように社会活動が戻ってきました。会の活動も前年度より増え、コロナ前に戻ってきています。2023年度は、行政や医療機関、全国のエイズNGOやLGBTをプロパーとしている団体はもちろん、大学やバンドなどHIV/エイズとは全く関係ない団体にもご理解とご協力いただき資料の配布など啓発することができたと思います。これは、今まで当会が大切にしてきたことをスタッフがそれぞれの団体にレッドリボンのバトンを渡し、つながってくれていたから出来たことだと思います。これからはHIV領域の団体だけではなく、様々な団体とのつながりを大切に、そしてさらに多くの団体とつながっていけるよう、活動していきます。それが、当会の目的である「HIV/エイズへの差別・偏見のない社会」につながっていくと信じています。

2022年度から改定し短期目標③を継続していますが、変わらずの主要スタッフ不足により、会員・ヘルプスタッフの皆さんに対して会の中での勉強会の実施はできませんでした。スタッフがそれぞれが、「HIV/エイズに関すること」だけではなく、「性感染症に関すること」「認定NPOやNPOの組織づくりに関すること」「広報に関すること」など、活動に必要な情報を吸収するため、外部の研修会や勉強会に積極的に参加して自己研鑽を積んできました。すぐに活かせるもの、そうではないもの様々ですが、吸収したことを会員・ヘルプスタッフに伝え、これからはスタッフ一同、同じ方向性で一緒に活動していきたいと思っています。

札幌市主催のLGBTのためのエイズ検査の広報や当日の相談員派遣、厚生労働省の研究班の事業への協力など、継続できている事業もあります。ここには記載できなかった事業もたくさんあります。そして2023年度は、新しくヘルプスタッフ登録していただいた



方々や登録していたがコロナ禍でなかなか外での活動が難しかったスタッフも、アウトリーチをはじめ大活躍してくださった一年でした。その活動に大変感謝いたします。

また、2023 年度も助成金だけではなく、資金面で継続的に応援して下さる賛助会員の皆様、たくさんの寄附をいただいた個人の皆様、啓発資材のサンプルを提供いただいた企業様等、たくさんの方々に支えられ、事業を全うすることができました。本当にありがとうございました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

2024 年度も、すでにアウトリーチは「九十九祭」と「さっぽろレインボープライド」でのブース出展が決まっています。講演事業も世界エイズデー札幌実行委員会と協力していきながら活動できるようスタッフが調整しています。ななかまどプロジェクトは、陽性者交流会がスタートしてから 10 周年を迎えます。

これまでも、それぞれのスタッフが関われる形で、活動を支えてくださっています。年齢も職業もセクシュアリティも多様なスタッフが関わってくれていることで、一つの事柄も、多角的に考えることが出来る、これは、当会の財産だと思えます。事務局メンバーだけの活動にならないよう、それぞれの経験や感受性を共有するような機会を持ち、切磋琢磨していきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

定例ではございますが、2024 年度も事務局メンバーだけでは、会の活動はできません。会のみinnで事業を進めていきたいと思っています。スタッフそれぞれが「ワクワクすること」「心が動くこと」を考えながら、自分が出来ることから始め、innで活動の輪を少しずつ広げて行きましょう。

2024年度活動計算書 予算案

(単位:円)

勘定科目	2023年度実績	2024年度予算案	前年比	備考
<b>I 経常収益</b>				
1. 受取会費				
会費区分				
正会員費	36,000	36,000	100.0%	
賛助会員費	73,000	70,000	95.9%	
キルト会員費	17,500	17,500	100.0%	2024年3月現在キルト会員7名
受取会費計	126,500	123,500	97.6%	
2. 受取寄付金	112,596	110,000	97.7%	
3. 受取助成金				
エイズ予防財団	0	380,000		2024年度 電話相談事業に対する助成
さぼーとほっと基金	100,000	0	0.0%	
イオン黄色いレシート	51,100	50,800	99.4%	2024年寄贈分50,800円
その他助成金	0	200,000		bdaオーガニック助成金
受取助成金計	151,100	630,800	417.5%	
4. 事業収益				
陽性者支援事業(ななかまど)	7,500	10,000	133.3%	陽性者交流会 参加費@500 全6回 延べ20人で試算
電話相談事業	269,880	200,000	74.1%	LGBTほっとライン
キルト事業	96,100	95,000	98.9%	ヤフオク!での販売
普及啓発事業	147,890	98,000	66.3%	MSM検査会
講演事業	0	0		
事業収益計	521,370	403,000	77.3%	
5. その他収益				
受取利息	3	3	100.0%	利息
雑収入	0	0		
その他収益計	3	3	100.0%	
<b>経常収益計</b>	<b>911,569</b>	<b>1,267,303</b>	<b>139.0%</b>	
<b>II 経常費用</b>				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与手当	140,400	108,000	76.9%	LGBTほっとライン・アウトリーチ手当
人件費計	140,400	108,000	76.9%	
(2) その他経費				
旅費交通費	53,690	73,200	136.3%	LGBTほっとライン
通信費	171,707	150,000	87.4%	フリーダイヤル料
印刷製本費	0	22,000		陽性者交流会フライヤー・カード資材
材料費	59,879	60,000	100.2%	キルト材料費
会議費	10,071	20,000	198.6%	交流会会場費
荷造発送費	15,096	74,600	494.2%	キルト販売発送費・電話相談広報資材発送費
消耗品費	67,048	87,000	129.8%	イオン黄色いレシート贈呈分購入・アウトリーチ消耗品など
業務委託料	233,000	33,000	14.2%	
広告宣伝費	50,000	20,000	40.0%	MSM検査会バナー広告
諸謝金	0	0		
複写費	0	0		
支払手数料	16,415	19,350	117.9%	キルト部門ヤフオク!各種手数料
交際費	12,000	0	0.0%	
雑費	80,000	110,000	137.5%	キルト PLASさんへの寄付・さっぽろレインボープライドブース出展料
その他経費計	768,906	669,150	87.0%	
<b>事業費計</b>	<b>909,306</b>	<b>777,150</b>	<b>85.5%</b>	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給与手当	0	0		
人件費計	0	0		
(2) その他経費				
地代家賃	180,000	180,000	100.0%	家賃
水道光熱費	100,583	110,920	110.3%	水道・電気(ガス・灯油は使用していない)
消耗品費	0	0		
支払手数料	0	0		
荷造発送費	0	0		
研修費	0	0		
保険料	3,150	12,000	381.0%	ボランティア保険・事務所火災保険料
交際費	0	5,000		
租税公課	350	1,200	342.9%	登記簿取得など
雑費	0	0		
その他経費計	284,083	309,120	108.8%	
<b>管理費計</b>	<b>284,083</b>	<b>309,120</b>	<b>108.8%</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>1,193,389</b>	<b>1,086,270</b>	<b>91.0%</b>	
当期正味財産増減額	-281,820	181,033	-64.2%	
前期繰越正味財産額	962,340	680,520	70.7%	
次期繰越正味財産額	680,520	861,553	126.6%	

# 2024年度 レッドリボンさっぽろ 事業別予算案

科 目	陽性者支援事業(ななかまど)			電話相談事業			キルト事業			普及啓発事業			講演事業			事業部門計			管理部門			合計			
	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	2023 実績	2024 予算	前年比	
<b>I 経常収益</b>																									
1. 受取会費	0	0		0	0		17,500	17,500	100.0%	0	0		0	0		17,500	17,500	100.0%	109,000	106,000	97.2%	126,500	123,500	97.6%	
正会員費																0	0		36,000	36,000	100.0%	36,000	36,000	100.0%	
賛助会員費																0	0		73,000	70,000	95.9%	73,000	70,000	95.9%	
キルト会員費							17,500	17,500	100.0%							17,500	17,500	100.0%				17,500	17,500	100.0%	
2. 受取寄付金							2,360		0.0%							2,360	0	0.0%	110,236	110,000	99.8%	112,596	110,000	97.7%	
3. 受取助成金等	0	0		100,000	380,000	380.0%	0	0		0	200,000		0	0		100,000	580,000	580.0%	51,100	50,800	99.4%	151,100	630,800	417.5%	
エイズ予防財団					380,000											0	380,000					0	380,000		
さぼーとほっと基金				100,000		0.0%										100,000	0	0.0%				100,000	0	0.0%	
イオン黄色いレシート											200,000					0	0		51,100	50,800	99.4%	51,100	50,800	99.4%	
その他助成金																0	200,000					0	200,000		
4. 事業収益	7,500	10,000	133.3%	269,880	200,000	74.1%	96,100	95,000	98.9%	147,890	98,000	66.3%				521,370	403,000	77.3%				521,370	403,000	77.3%	
5. その他収益																0	0		3	3	100.0%	3	3	100.0%	
<b>経常収益計</b>	<b>7,500</b>	<b>10,000</b>	<b>133.3%</b>	<b>369,880</b>	<b>580,000</b>	<b>156.8%</b>	<b>115,960</b>	<b>112,500</b>	<b>97.0%</b>	<b>147,890</b>	<b>298,000</b>	<b>201.5%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>641,230</b>	<b>1,000,500</b>	<b>156.0%</b>	<b>270,339</b>	<b>266,803</b>	<b>98.7%</b>	<b>911,569</b>	<b>1,267,303</b>	<b>139.0%</b>	
<b>II 経常費用</b>																									
(1) 人件費																									
役員報酬																0	0					0	0		
給料手当				139,400	105,000	75.3%				1,000	3,000	300.0%				140,400	108,000	76.9%				140,400	108,000	76.9%	
法定福利費																0	0					0	0		
人件費計	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>139,400</b>	<b>105,000</b>	<b>75.3%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>1,000</b>	<b>3,000</b>	<b>300.0%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>140,400</b>	<b>108,000</b>	<b>76.9%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>140,400</b>	<b>108,000</b>	<b>76.9%</b>	
(2) その他経費																									
旅費交通費				47,500	67,200	141.5%				6,190	6,000	96.9%				53,690	73,200	136.3%				53,690	73,200	136.3%	
通信費				123,659	150,000	121.3%				48,048		0.0%				171,707	150,000	87.4%				171,707	150,000	87.4%	
印刷製本費		22,000													0	22,000						0	22,000		
材料費							59,879	60,000	100.2%							59,879	60,000	100.2%				59,879	60,000	100.2%	
会議費																10,071	20,000	198.6%				10,071	20,000	198.6%	
荷造発送費					60,000		7,480	7,000	93.6%	7,616	7,600	99.8%				15,096	74,600	494.2%				15,096	74,600	494.2%	
事務消耗品費																0	0					0	0		
消耗品費				3,344	24,000	717.7%	2,397	3,000	125.2%	61,307	60,000	97.9%				67,048	87,000	129.8%				67,048	87,000	129.8%	
業務委託料										233,000	33,000	14.2%				233,000	33,000	14.2%				233,000	33,000	14.2%	
広告宣伝費										50,000	20,000	40.0%				50,000	20,000	40.0%				50,000	20,000	40.0%	
諸謝金																0	0					0	0		
複写費																0	0					0	0		
研修費																0	0					0	0		
水道光熱費	0			0			0			0			0			0	0		100,583	110,920	110.3%	100,583	110,920	110.3%	
電気																0	0		59,663	70,000	117.3%	59,663	70,000	117.3%	
ガス																0	0					0	0		
水道																0	0		40,920	40,920	100.0%	40,920	40,920	100.0%	
地代家賃																0	0		180,000	180,000	100.0%	180,000	180,000	100.0%	
支払手数料		550		275	2,800	1018.2%	15,270	15,000	98.2%	870	1,000	114.9%				16,415	19,350	117.9%				16,415	19,350	117.9%	
交際費										12,000		0.0%				12,000	0	0.0%		5,000		12,000	5,000	41.7%	
保険料																0	0		3,150	12,000	381.0%	3,150	12,000	381.0%	
租税公課																0	0		350	1,200	342.9%	350	1,200	342.9%	
雑費							60,000	60,000	100.0%	20,000	50,000	250.0%				80,000	110,000	137.5%				80,000	110,000	137.5%	
<b>その他経費計</b>	<b>10,071</b>	<b>42,550</b>	<b>422.5%</b>	<b>174,778</b>	<b>304,000</b>	<b>173.9%</b>	<b>145,026</b>	<b>145,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>439,031</b>	<b>177,600</b>	<b>40.5%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>768,906</b>	<b>669,150</b>	<b>87.0%</b>	<b>284,083</b>	<b>309,120</b>	<b>108.8%</b>	<b>1,052,989</b>	<b>978,270</b>	<b>92.9%</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>10,071</b>	<b>42,550</b>	<b>422.5%</b>	<b>314,178</b>	<b>409,000</b>	<b>130.2%</b>	<b>145,026</b>	<b>145,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>440,031</b>	<b>180,600</b>	<b>41.0%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>909,306</b>	<b>777,150</b>	<b>85.5%</b>	<b>284,083</b>	<b>309,120</b>	<b>108.8%</b>	<b>1,193,389</b>	<b>1,086,270</b>	<b>91.0%</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>-2,571</b>	<b>-32,550</b>	<b>1266.0%</b>	<b>55,702</b>	<b>171,000</b>	<b>307.0%</b>	<b>-29,066</b>	<b>-32,500</b>	<b>111.8%</b>	<b>-292,141</b>	<b>117,400</b>	<b>-40.2%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>-268,076</b>	<b>223,350</b>	<b>-83.3%</b>	<b>-13,744</b>	<b>-42,317</b>	<b>307.9%</b>	<b>-281,820</b>	<b>181,033</b>	<b>-64.2%</b>	

## 2024年度 人事案

### 【理事会】

理事長：沼田 栗実

理事：富田 美奈子 ・ 宮内 典子 ・ 本庄 真美子 ・ 秋山 満

監事：伊藤 雅子 ・ 長瀬 直子

### 【事務局】

代表：沼田 栗実(留任)

事務局長：秋山 満(留任)

会計：堂前 智代(留任) ・ 本庄 真美子(留任)

事務局員：沼田 栗実、秋山 満、本庄 真美子、堂前 智代

### 【各部門担当者】

キル ト：伊藤 雅子(留任)

電話相談：本庄 真美子(留任)

講演：沼田 栗実(留任)

ななかまど Project：秋山 満(留任)

アウトリーチ：沼田 栗実(留任)

## RRS 中期目標・2024年度短期目標の検討

## ■ RRS 中期目標（5年先を見据えた目標）

2018年度中期目標の設定に関しては様々な提案があり、運営会議で、

- ① 事業で必要とされるもの、②社会的に必要とされるもの、③運営として必要なものに絞り、検討の結果、5年先を見据え、2018年度に設定した目標を2021年度に改定し以下のように設定した。引き続き、5年先を見据えた目標であるため、2024年度も継続したい。

## 2018年度に改訂し、2021年度に作成したものを2024年度も継続

- ① HIV陽性者の現在と老後を見据え、医療福祉サービス事業者への情報提供をしていく  
② 検査率向上を目標に、年間5,000人に対してHIV/AIDSの情報を伝えていく  
③ 「レッドリボンさっぽろ」の目指す社会を実現するために、認定NPO法人を取得する。

## ■ 2023年度短期目標達成の評価と2024年度の短期目標

まず、以下のように提案をした2023年度の短期目標（中期目標の①～③に対応している）の達成度を、事務局で次のように評価した。全体的に目標達成に向けて活動したことを大きく評価したい。

## ① HIV/エイズを取り巻くさまざまな背景を鑑み、他団体とつながりを強化する。

→中期目標①につながる目標でもあり、継続的につながりを絶やさないよう、引き続き他団体とのつながりを強化していきたいと考え、この目標を設定した。

2023年度も引き続き、厚生労働省研究班(MSM ALL JAPAN)の取り組みに協力でき、(一社)にじいろほっかいどうと共催で2つのイベントを開催できた他、WAVE さっぽろにもご協力いただき北海道初となるオリジナルコンドームの制作ができた他、Qwe'reの協力の下、ゲイナイトにて啓発資材の配布もできた。また、九十九祭やさっぽろレインボープライドへの参加や各ラジオ出演、Jazz ライブでの資料配布など、他団体とのつながりがなければ実現できなかったことが多かったと考えている。これは、スタッフがこれまでのつながりを大切にし、コミュニケーションに注力した結果、そのつながりが強化され、実現できたと評価している。今後も、道内外のエイズNGOや他団体とのつながりを大切に活動の輪を広げていきたい。

## ② 新しい予防方法の普及につなげるため、コンビネーション予防について伝えていく。

→北海道・札幌でもPrEPを処方するクリニックができ、新しい予防方法で「PrEP」というものがあると、コミュニティの中でも浸透してきているが、「PrEP」という言葉だけが浸透するのではなく、正しい使用方法も伝えていかなければならない。また、一つの予防方法だけではなく、予防方法を複数組み合わせで行うこと（コンビネーション予防）で、HIV感染拡大の終息を早くするという研究もあり、まずは、PrEPの正しい知識だけではなく、コンドームの使用やU=U、定期的な検査などと併用するコンビネーション予防についても伝えていくため、この目標を設定した。

2023年度は、各イベントでコンビネーション予防を意識したブース作りが出来た他、「コンビネーション予防とPrEP」という講演会も開催できたことを高く評価している。

- ③ スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、参加を促していくことで、「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。  
→この目標は、開設から「言葉で伝える」ということを大切にしてきたが、近年、スタッフ間での感受性を共有するような場が少なかったため、会の中で、知識的なスキルアップだけでなく、言葉の引きだしが増えるような、スキルアップの機会を大切にしたいと考え、設定した。しかしながら、2023 年度も各事業内で勉強会の実施はできていたものの、変わらないマンパワー不足により、会全体での勉強会の実施が十分にできなかったと評価している。
- ④ 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。  
→これからも活動を円滑に進められ、多角的な視点から活動を展開していくためにも、活動に参加できる会員を増やしていくことが大切である。そのため、公式 LINE の使用などよりアクセスしやすい環境を整える必要があると考え、この目標を設定した。公式 LINE のアカウント作成ができたことは評価しているが、これを有効的に活用できていないため、引き続き環境整備は必要と考える。

以上のように、2023 年度の各目標の達成度を評価した。また中期目標を達成するために、2024 年度の目標を以下のように、検討した。2024 年度単年度で達成できることを念頭に置き、検討している。

- ① HIV/エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容を精査していく。  
→1993 年から活動している当会だが、開設当初から大切にしている活動が多い。開設から 31 年を迎え、HIV 感染症の治療は大きく進歩している。また、予防方法においても PrEP やコンビネーション予防、検査においても通常検査、即日検査の他、郵送検査という方法ができるなど、時代とともに HIV/エイズを取り巻く環境は変化している。そのため、いま令和時代に本当に必要な活動を実施できているのか、また伝える内容は時代に合っているのかなど検討し、次世代につながる活動を精査していきたい。
- ② スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。  
→2023 年度の評価を鑑み、2024 年度も継続目標とする。各々のスタッフの感受性やレッドリボンさっぽろとしての考え方を共通認識し、これからも同じ方向に向かって、活動していけるような体制を構築していきたい。
- ③ 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。  
→これからも活動を円滑に進められ、多角的な視点から活動を展開していくためにも、活動に参加できる会員を増やしていくことが大切である。そのため、公式 LINE の使用などよりアクセスしやすい環境を整える必要があると考える。

以上の 2024 年度の短期目標 3 つを、事務局として提案したい。



## 【2024 年度 短期目標】

1. HIV/エイズを取り巻くさまざまな環境や時代を鑑み、活動の内容を精査していく。
2. スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、「HIV/エイズに関する知識」だけでなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。  
(2022 年度から改定し継続)
3. 活動の輪を広げるための会員数の拡大に向けて、アクセスしやすい環境を整備する。  
(2023 年度から継続)